2010 年度　09ks 生ゼミ　　岩村 英之

経常収支のマクロ的な意味について

2010 年 7 月 29 日

まず最初に，ここでは簡単化のため，「経常収支」とは「輸出－輸入」と定義しておきます．
以降，この経常収支が，

1. 日本国民の総所得と総支出の差に等しくなり，また
2. 日本国民の総貯蓄と総投資の差に等しくなること

を確認していきます．

1. 経常収支 = 総所得 - 総支出

つくられたものは，誰かに購入（＝支出）されてはじめて生産者への所得を生みだします．たとえば，あなたが畑でつくったジャガイモは，私が 100 円支払って購入することで，はじめてあなたに 100 円の所得を生み出します．したがって，日本国民の総所得とは，日本国民の支出の合計，すなわち総支出に等しくなるように思えます．

日本国民の総所得＝日本国民の総支出　？

あるいは

日本国民の総所得－日本国民の総支出＝0　？

しかし，日本製品に支出するのは日本人だけではありません．外国の人々も日本製品に支出しています．したがって，外国人の支出も日本国民の所得を生みだすことになります．そうなると，日本人の総所得は外国人による支出の分だけ日本人の総支出を上回るように思えます．

日本国民の総所得－日本国民の総支出＝外国人の日本製品への支出　？

しかし，ここで，日本人も外国の製品に支出していることに注意しなければなりません．もし外国人による支出によって生み出された所得を，日本人がそのまま外国製品に支出すれば，結局日本人の支出によって最初の所得が生み出されたのと同じことになります．つまり，やはり日本国民の所得は日本国民の支出に等しくなってしまいます．次のような例を考えてみましょう．
たとえば，外国人が日本の製品を 100 万円分購入したとします．これは日本人の所得を 100 万円生み出します．しかし，この 100 万円を日本人が外国製品の購入にあてると，日本人が 100 万円を外国人に渡して日本製品に（日本人の代わりに）支出してもらったのと同じことになります．つまり，結局のところ日本人の 100 万円分の支出によって日本人の同額の所得が生み出されたのと同じになり，支出を上回る所得が生ずることにはなりません．

では，日本人が 90 万円しか外国製品に支出しない場合はどうでしょうか．外国人の支出によって 100 万円の所得が生み出されていますが，日本人の外国製品への支出は 90 万円です．すなわち，90 万円の支出で 100 万円の所得が生み出されていることになり，日本人の所得は日本人の支出を上回ることになります．すなわち，外国人が日本製品に支出するより少額しか日本人が外国製品に支出しないとき，その差額分だけはじめて日本国民の所得は日本国民の支出を上回るのです．

日本国民の総所得－日本国民の総支出＝外国人の日本製品への支出－日本人の外国製品への支出

ところで，「外国人の日本製品への支出」「日本人の外国製品への支出」とは，それぞれ「輸出」「輸入」のことです．したがって，上の式は次のようになります．

総所得－総支出＝輸出－輸入
＝経常収支

すなわち，一国の経常収支は事後的にはその国の総所得と総支出の差に必ず等しくなるのです．

2. 経常収支 = 総貯蓄 - 総投資

経済学で総貯蓄というとき，それは総所得から「消費目的の支出」を差し引いた額を指します．そう聞くと，多くの学生諸君は「消費目的以外の支出があるのか」，あるいは「消費目的の支出って何だ」と思うことでしょう．支出には 2 通りあります．ひとつは，食料品などのように比較的短い期間に使い切ってしまうものに対する支出であり，これを「消費」と言います．もうひとつは，車や家などのように長期にわたって使い続けるものに対する支出で，「投資」と言います．企業が工場設備を購入したり，鉄道会社が新規に車両を購入する場合の支出も「投資」に数えられます．車・家の購入や工場建設などは，ある程度遠い将来を見越して今日支出する行為であり，食料品等への支出とは意思決定の基準が異なってくるため，経済学では分けて考えます．また，ここでの「投資」という言葉の用法は，株や債券を購入したりする行為を指す日常的な使い方とは異なることにも注意してください．

さて，経済学で言うところの「貯蓄」とは，所得から消費支出を引いた残りのことです．これも，日常的な使い方とは意味が異なるので注意してください．
経済全体の総貯蓄とは，総所得から総消費を引いた残りのことです．
ここで，先に導いた「総所得－総支出＝経常収支」の「総支出」の部分を，「総消費＋総投資」と置き換えてみてください．

総所得－総支出＝経常収支
総所得－（総消費＋総投資）＝経常収支

さらにかっこを外すと，

総所得－総消費－総投資＝経常収支

となります．この式における左辺の「総所得－総消費」はまさしく「総貯蓄」に他なりませんから，

総貯蓄－総投資＝経常収支

となります．
これは常に成立する式を変形しただけのものですから，こちらも常に成立します．
すなわち，事後的には経常収支は経済全体の貯蓄と投資目的の支出の差額に必ず等しくなるのです．